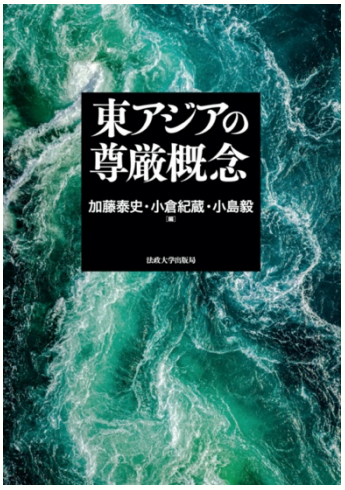
連続シンポジウム
「世界哲学・世界哲学史を再考する」第五回

世界哲学における「尊厳」概念

EAA
EAST ASIAN ACADEMY FOR NEW LIBERAL ARTS
東アジア藝文書院



【日時】
2021 年 7 月 22 日（木）
17:00~19:00

【場所】 Zoom ミーティング
https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tZctcumspjsiE9fwv_u3U1UUemUEcHWogY0

※要事前登録

【言語】 日本語

EAA では『世界哲学史』（全 8 巻＋別巻、ちくま新書、2020 年）に関わる連続シンポジウムを行っています。

今回は「尊厳」をテーマに総合的な研究プロジェクトを展開している加藤泰史氏と小島毅氏を報告者として、世界哲学の視野で議論していきます。『尊厳と社会』(2020)『東アジアの尊厳概念』(2021，ともに法政大学出版局)もご参照ください。

報告者：加藤泰史、小島毅、納富信留（司会）

コメンテーター：犬塚悠

【プログラム】

趣旨説明（納富）	：17:00-17:10
尊厳概念の多元化と世界哲学史構想の問題 ——多元的世界哲学史構想と問題史的世界哲学史構想の間（加藤）	：17:10-17:40
「文化中国」と「自由」（小島）	：17:40-18:10
コメント（犬塚）	：18:10-18:20
報告者間の討論	：18:20-19:00

【主催】
東京大学東アジア藝文書院（EAA）

【共催】
哲学会

【連絡先】
納富信留 notomi@l.u-tokyo.ac.jp